

広報ふたは、

2017年 12月 災害版No.79





-永年のたたえて-

平成29年



▲ 左から、石川榮次様、伊澤町長、佐々木議長、ひらた中央病院様、 金子バラ園様

平成29年度双葉町表彰式がいわき事務所大会議室において挙行され 11月3日、 町政の進展に多大な貢献をされた方々を称えるため

職責を果たすことができましたのも、関係者の方々のご協力があっ られ、その後、受章者を代表して根本英樹さんが「永年にわたって 続表彰、3団体に感謝状と記念品が贈られました。 として2人の方々に表彰状・記念品と徽章が、11人の方々に永年勤(式では、伊澤史朗町長の式辞に続いて、特別功労表彰、功労表彰) 続いて、佐々木清一町議会議長、橋本徹県議会議員が祝辞を述べ

双葉町表彰式

朝田幸伸様、 阿部秀一様、 福田--治様、 後列左から、 木幡和清様、 前列左から、根本英樹様、伊澤町長、佐々木議長、西内芳徳様、 鈴木健一様

たからこそと厚く感謝を申し上げます」と謝辞を述べられました。

表彰された方々は次のとおりです。

統計調査員50年 ◇永年にわたり統計調査員と された功績顕著 して地方自治の進展に尽く 一美様 いわき市在住 (山田)



◇永年にわたりスポーツ推進 に尽くされた功績顕著 委員として社会体育の振興 榮次様 (下長塚)

スポーツ推進委員34年

いわき市在住





西内

芳徳様(下長塚)

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

英樹様(下条)

いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

泰弘様(下条)

千葉県在住

阿部 ◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

茨城県在住

秀一様(下条)

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

佐々木 希久様(下長塚) いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

◇多年にわたり双葉町消防団員

として消防活動に寄与 和清様(長塚二)

いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

福田 治様 (下長塚)

いわき市在住

◇多年にわたり双葉町消防団員 として消防活動に寄与

廣田 (渋川)

いわき市在住

◇多年にわたりスポーツ推進委員 として社会体育の振興に寄与

洋一様(長塚三) 神奈川県在住

◇避難所、埼玉支所に毎週バラ

佐川 文彦様

平田村

◇多年にわたり双葉町職員とし て地方自治行政の進展に寄与

金子バラ園

金子 伸昭様

埼玉県

の切花を寄付

様 (鴻草)

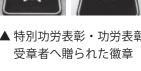
◇多年にわたり双葉町職員とし て地方自治行政の進展に寄与

(鴻草)



埼玉県在住



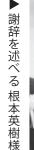
















HJ の皆さま

最後の月、 10月28日、渡邉一成選手から、ふたばっ 冷たい風が吹きはじめ、平成29年 師走を迎えました。 \dot{o}

を申し上げます。 ばならないと強く肝に命じた次第です。 復興を少しでも前に進めていかなけれ 選手が生まれ育ったふるさと双葉町の を与えたい」と話されました。お心遣 ポーツを通して子どもたちに夢と感動 から感謝し、自分ががんばることでス 援していただいている町民の皆さまへ心 した方々に対して、改めて敬意と感謝 展や避難者支援に多大な貢献をされま 体に感謝状をお贈りしました。町政進 続表彰の11人にそれぞれの功績を称え いに感謝を申し上げるとともに、渡邉 いただきました。渡邉選手は「いつも応 子教育支援基金へ多額の金員をご寄付 表彰状をお贈りしました。また、3団 表彰が1人、功労表彰が1人、永年勤 した。今年度の表彰式には、特別功労 11月3日には、いわき事務所におい 平成29年度表彰式を挙行いたしま

終了しました。懇談会では町からの説 県内外12会場で開催した町政懇談会を た皆さま方に心から感謝申し上げます。 候の悪い中会場に足をお運びいただい 方々にご出席いただきました。遠方や天 お聞きしました。全会場で300人の ブレット端末に各会場の議事録を掲載 いては今後、町公式ホームページやタ また都合で出席できなかった方につ 11月4日の柏崎市での開催を最後に、 町民の皆さんからのご意見を

> する予定ですので、 いと思います。 ご一読いただきた

まいります。 可能となるように県に強く働きかけて 進められています。木造戸建て住宅に ました。今後も平成29年度内に入居が 区に建設中の復興公営住宅について ついても10月中旬、工事に着手いたし ですが、現在、集合住宅の建築工事が 町外拠点となるいわき市勿来酒井地 福島県が整備を進めているところ

贈がありました。震災から6年8カ月 を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状 についたところでありますが、双葉町 生計画の認定を受け、双葉町もようや ますことに厚く御礼を申し上げます。 ヤー、スピーカーなどの電化製品の寄 営住宅の集会場へテレビやCDプレー ラブ(森田知行会長)様より、 く帰還に向けた復興のスタートライン が過ぎてもなお、ご支援いただいてい 9月に特定復興再生拠点区域復興再 11月1日、東京江戸川ロータリーク 復興公

う心よりご祈念申し上げます。 民の皆さまにおかれましては、ご壮健 しご支援いただいたすべての皆さまに にて新しい年をお迎えになられますよ 厚く御礼を申し上げますとともに、町 結びに、今年一年間、双葉町民に対 を前進させ、町への帰還を目指して町 画(第二次)に基づき、双葉町の復興 況が予想されます。復興まちづくり計

んでまいります。

整うよう、様々な課題に全力で取り組 民の皆さまが希望の持てる生活環境が

双葉町長 伊澤 史朗

成選手より寄付金の贈呈

れました。 会の山本佳子理事長に目録が手渡さ スを経営するパンダハウスを育てる 福島県こども未来局長、パンダハウ 選手から、伊澤史朗町長、須藤浩光 全国町村会館において行われ、 贈呈式は、10月28日、 東京都内の 渡邉

渡邉選手は、 8月にいわき市のい

連続出場を果たした渡邉一成選手か 子どもと家族を受け入れている施設 寄付金が贈られました。 パンダハウス」にそれぞれ多額の 福島県東日本ふくしまこども寄 双葉町ふたばっ子教育支援基 転車競技でオリンピック3大会 福島医大附属病院で病と闘う

たとのことでした。

じめ福島県民の皆さんへの恩返しと 応援していただいている双葉町をは

して寄付をしたいとの想いを強くし

ルスター競輪などで優勝し、 わき平競輪場で開かれた第60

いつも 回オー

す」と御礼を述べました。 町の復興に全力で取り組んでいきま である双葉町を無くさないためにも 待しています。渡邉選手のふるさと が応援しています。これからも健康 ます。渡邉選手の活躍を町民みんな ちのために有効に使わせていただき に留意され、ますますのご活躍を期 付金は双葉町の未来を担う子どもた 伊澤町長は「お贈りいただいた寄



福島県復興公営住宅 (いわき市勿来酒井団地) の整備状況

(本年10月末時点)

- ○共同住宅(87戸)※整備保留分除く ※建築工事中・進捗率74% ※共同住宅1棟(21戸)は整備保留
- ○木造住宅(72戸) ※建築工事中・進捗率2%
- ○基盤整備工事 ※造成工事中・進捗率98% なお、入居開始時期は、平成30年3月以降の予定です。 (福島県公表)



【問い合わせ先】復興推進課 ☎0246-84-5203

東京江戸川ロータリークラブから 電化製品の寄贈



11月1日、東京江戸川ロータリークラブ(森田 知行会長)様がいわき事務所を訪れ、テレビやスピー カーなどの電化製品を寄贈していただきました。今 回寄贈していただいた電化製品は、本年度完成予定 の勿来酒井復興公営住宅集会所に設置し、大切に使 わせていただく予定です。

東京江戸川ロータリークラブ様には、前回も町立 幼稚園・小中学校にオイルヒーターセットや拡大コ ピー機などを寄贈いただき、多くのご支援をいただ いております。

京都府京丹波町の社会教育委員が双葉町を訪問 友好町



4日目は、 ひだまりサロンを訪問 町立学校や

の状況について理解を深められてい 史民俗資料館などを視察され、町内 所となった役場や公民館、学校、 も同行し双葉町内の視察を行いまし などについて話されました。 3 目 [2日目は、 震災当日、災害対策本部や避難

を継続していくこと、 双葉町の社会教育委員 双葉町の復興 歴 来年のダルマ市の際に寄贈いただく

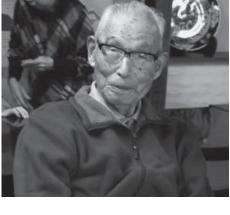
くこと、お互いの子ども同士の交流 災害を京丹波町の防災へつなげてい 意見交換が行われ、 澤史朗町長、 教育委員の皆さんが双葉町を訪問し 友好町である京都府京丹波町の社会10月17日からの4日間、双葉町が 初日は、 舘下明夫教育長などと わき事務所において伊 双葉町が受けた

ていきたいと話されていました。 さらに交流を深め、全力で支援をし 問を通して、 予定となっています。 社会教育委員の皆さんは今回 遠い距離ではあるが、

京丹波町から しました。 町 民の方々と触れ合いながら交

り紙で折ったダルマ1000個を、 す。さらに、京丹波町の皆さんが折 を義援金としていただいておりま 設住宅内で開催している盆踊りにお た。また、これまでいわき市南台仮 た野菜などを届けていただきまし 騎西高校へ千羽鶴や京丹波町で採れ 援金や支援物資、避難所となった旧 様々なご支援をいただいており、 マーケットを行い、その売上金 少年野球の子どもたちがフ 震災

おめでとうございます



から贈られ、 難先である宮城県柴田町の蕎麦処 から贈られ、続いて福島県知事かて賀寿と敬老祝金が伊澤史朗町長 見守る中、賀寿式が行われました。 をはじめご家族、ご親戚の方々が 陣屋」において、奥様のイツさん **!**めでたく満百歳を迎えられ、 式では、 初めに長寿をお祝いし 澼

らの賀寿と、会津塗りの木杯が伝 10 月15日、 岡戸正雄さん Щ

> 葉を述べ、さらに、 議会議長がお祝いの言葉を述べら し上げます」とお祝いと御礼の言 続いて、 賀寿を祝いました。 ひ孫の祓川美桜さん、

果歩さんからそれぞれ とし、元気に日々を過ごされてい るとのことです。

美さん、

献をいただきました。め、青少年の健全育成 活動は途切れてしまいましたが、 うお願いいたします。 後進のためにご指導を賜りますよ これまでのご活躍に厚く御礼を申 隊隊長として地域の防犯に努 正良様には双葉町地域パトロー 青少年の健全育成に大きな貢 佐々木清一町 震災により h

け 正雄さんはうれしそうに笑顔で受色とりどりの花束が贈られると、 取りました。

ら近況を報告し、 望んでいることなどを話され、町の自宅にもう一度行きたい 読書や軽い体操をすることを日課 の秘訣と教えてくださいました。 日のことを考え笑うことが長生きに話され、昨日のことは忘れ、明 していたことなど、なつかしそう 双葉町役場に嘱託職員として勤務 さつの中で、感謝の言葉と正雄さ 最後に、長男の正良さんがあ 正雄さんは、 の自宅にもう一度行きたいと のこれまでの経歴を交えなが 福島県庁を退職 正雄さんが双葉



られました。

伊澤町長は、「正雄様が震災以

、連合会長から賀寿と記念品が贈

次に、玉野憲一双葉町老人クラ

達されました。

過ごされていますことに敬意を表

今後も健康に留意され

うれ、これまでの人生をご健康で この大きな環境の変化にも耐え

双葉町商工会が要望書を提出

10月26日、田中清一郎双葉町商工会長がいわき事務所を訪れ、 伊澤史朗町長に今後発注する工事等に対しての要望書を提出しました。 要望の内容は以下のとおりです。

- ①町内の工事・資材等を発注する場合は、地元業者に優先的 に発注すること。
- ②環境省からの大手JV発注工事には、町内業者を必ず使用 するよう環境省に働きかけること。
- ③環境省発注工事について、本当に地元業者が使用されてい るか環境省に確認すること。
- ④発注する際には、地元業者への技術支援や人材育成、また 町に対しての町づくりの構想や地域おこし等の貢献度を重 視するよう環境省に働きかけること。



5



を受けて作成された林野火災活 動要綱では、 賓の方々による閲団、通常点検 一今年4月に発生した林野火災 伊澤史朗町長をはじめ来 続いて、伊澤町長が

した。 根本英樹訓練分団長の合図

新団旗の紹介が消防団員、来賓が61年ぶりに新しく制作され、

それを受けて、9月に消防団旗

日本消防協会「竿頭綬」を受賞。

態度で検閲式に臨みました。

双葉町消防団は、今年3月に

消防団員が集合し、

整然とした

義幸団長をはじめとする34人の 式が開催され、避難先から石井

5回目となる双葉町消防団検閲

月命日にあたる11月11

日本大震災から6年8カ

の皆さんが注目する中行われま

その後、 議員、 ます。 信二浪江消防署長が祝辞菅野紀之双葉警察署長、 方振興 要であり組織の存続は必要で べられました。 あります」と式辞を述べました。 にも大きな期待が寄せられて には消防団による後方支援活 線となる消防団の役割は重 佐々木清 今後とも災害対応 局次長、 来賓の石 一町議会議長、 橋本徹県議会 川靖相双地 を述 加勢 の第

んでほしい」と訓示があり、団の自覚を持って自己研さんに励 動ができず歯がゆい思いではあ が避難している状況で十分な活 対する定例表彰が行われ、 団長から表彰状が贈られました。 最後に、石井団長から「団員 の士気を高めました。 また、式の中で11人の団員に 引き続き消防団員として 石井







福島地方環境事務所からのお知らせ~中間貯蔵施設について~

◇ **輸送について(11月17日現在)** 双葉町内中間貯蔵施設保管場の輸送の状況は下記のとおりです。

搬出	占市町村	搬入量(袋)※		搬出	市町村	搬入量(袋)※		搬出	17	
	相馬市	799		浜通り	飯舘村	22,220				
	南相馬市	8,298			葛尾村	8,586		中通り		
浜通り	新地町	1,919				伊達市	9,967		中地り	
	浪江町	14,013		中通り	二本松市	25,747				
	双葉町	19,346			福島市	5,933			Ē	

搬出	市町村	搬入量(袋)※
中通り	本宮市	4,887
	川俣町	8,005
	桑折町	6,860
	大玉村	609
	計	137,189

◇環境安全委員会について

11月14日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境 安全委員会(第9回)が開催され、工事や輸送の状況等について報告しました。 引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積は 1 ㎡と換算して表示する場合がありま す。ただし、1袋1㎡より小さいフレ キシブルコンテナ等もありますのでご 留意ください。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています 今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株 式会社)のHPで公表しております。(URL)http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html

【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課 ☎ 024-563-1293



第30回双葉町総合美術展 第4回双葉町町民作品展

11月7日、8日の両日、郡山市ビッグアイ6階展示室におい て、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催による第30回双葉町総 合美術展と第4回双葉町町民作品展が開催されました。

会員の皆さんが県内外に避難している中、写真、書、絵画、短 歌など8つの部門に約130点の作品、また、町民作品展には自 治会や婦人学級の皆さんによる様々な手芸の力作約70点が出品 され、会員の皆さんにより会場内にきれいに展示されました。

また、今回は昭和62の初開催から30回目の節目を迎え、歴代 協議会会長の作品や協議会の歩みを振り返る資料を展示したコ[、] ナーを設け、特別展も行われました。

開会式では、まず初めに30周年を記念してテープカットが行 われ会場に訪れた方々から拍手が送られました。次に横山久勝会 長が「芸術文化活動も避難という大変厳しい環境の中で継続して いくことがどれだけ大変なことか、身にしみて感じています。双 葉町にある今までの芸術文化を継承していくためには、後継者を 育てていく活動も今後行政と力を合わせて取り組んでいく時期な のかと思います」とあいさつされました。

続いて、伊澤史朗町長・佐々木清一町議会議長が祝辞を述べ、 開会式終了後は会場内に展示された素晴らしい作品を一つひとつ 丁寧に観賞しました。

10月28日、29日には、いわき市勿来体育館で開催された、 勿来地区総合文化展双葉町スペースにおいても同じく開催され、 双葉町立小中学校児童・生徒の作品とともに約250点の作品が 展示されました。













双葉町民謡 ·花笠音頭 同好会





A スマイル 若者たち・荒城の月 大正



双葉の輪 笑顔を届けよう みんなで

双葉町立幼稚園 小・中学校



りするお話を一生懸命に演じ、 低学年では見ている人がほっこ 果の発表や一生懸命練習を重ね る力強い和太鼓の音色を会場内 に分かれて劇を発表しました。 合唱を発表しました。 た箏の演奏、 表」として、各学年が自分と地中学生は「総合的な学習の発 に響かせました。 檀 小学生は、 将来を関連付けて考えた成 全員で心を込めた 低学年と高学年 表でした。

保存会の指導を受けて練習して きた「天響」を演奏し、 笑顔を届けよう」をスローガン おいて「双葉の輪 文化祭が開催されました。 て小中学生が標葉せんだん太鼓 に幼稚園・小学校・中学校合同 オープニングは、昨年に続い 月3日、 町立学校体育館に みんなで 迫力あ

成果が感じられる素晴らしい発 りの表情から、日ごろの学習の した。 学生がこれまで授業の中で学ん 演技や演奏、さらには一人ひと となった栴檀祭。子どもたちの もたちの成長を確かめるように 展示され、 だ絵画や書写、 一つひとつじっくりと見ていま 園児・児童・生徒全員が主役 保護者の方々は子ど 美術作品などが

した。 れました。 の皆さんから温かい拍手が送ら とび箱などの運動遊びを披露 また、 幼稚園児は、 園児の可愛らしい姿に会場 会場の後方には、 トランポリンや

考えた創作劇を堂々と発表しま 高学年は自分たちでシナリオを









勿来地区総合芸能祭

10月29日、第49回いわき市民文化祭第44回 勿来地区総合芸能祭がいわき市勿来市民会館におい て開催されました。

双葉町からも毎年参加させていただいており、 コーラスふたば、双葉町民謡同好会、JAスマイル 大正琴の皆さんが出演しました。

3団体の方々は、練習の成果をステージの上で 堂々と披露し、たくさんの来場者の方から温かい拍 手が送られていました。

いわき市民からは「懐かしいメロディーが聞けて 良かった」などの声が聞かれました。



ーラスふたば 旅愁・おひさま・ 大切なあなたへ~



平成29年度 双葉町立幼・小・中学校合同文化祭 「栴檀祭」

小学生による開会宣言の後「天響」という標葉せんだん太鼓の勇壮な音が、まさに天まで響き渡るような素晴らし い演奏でオープニング。会場からは割れんばかりの大喝采。お忙しい中、熱心にご指導いただいた標葉せんだん太 鼓保存会の皆さんに心より御礼申し上げます。この伝承の姿こそが、双葉町復興の土台になると考えます。今後も 町民の皆さまのご支援をいただきながら、新たな学びが継承できれば素晴らしいと思います。また、展示作品も絵 画や書写はもちろん、美術の専門性を生かした魅力ある作品がたくさん展示され、子どもたちの知識と技能、そし て表現力が十分に詰まった文化祭でありました。指導に当たられたすべての先生方に感謝申し上げます。





いわき市勿来地区総合文化展・芸能祭への出品及び特別参加

双葉町民謡同好会、コーラスふたば、JAスマイル大正琴の皆さんにおいては、いわき市民の方々との交流はもち ろん、双葉町の芸術文化を発信する貴重な機会と捉え、避難先での厳しい練習環境・状況にも負けず日々精進した 素晴らしい成果を発表していただきました。加えて、児童・生徒の作品や町民の皆さんの日頃より創作された作品も 展示され、町が望む「学び続ける子ども」「生涯を通じて学び続ける町民」の姿をうれしく思います。勿来地区の方々 の温かな受け入れ態勢には、改めて心より感謝申し上げます。

第30回双葉町総合美術展

11月7・8日の2日間、郡山ビッグアイ6階展示室において、節目である第30回展が開催されました。現在 の芸術文化団体連絡協議会の横山久勝会長、松木秀男実行委員長のもと、会員の皆さまの熱き思いとそれを支える 町民の皆さまとの繋がりが大震災をも乗り越え、この偉業が達成出来たことと深い敬意と感謝の意を表すものであ ります。会場に入ると、11部門にわたる多くの創作作品が並び、会員の皆さまや町民の皆さんの作品の素晴らし さに感服いたしました。第30回記念として、歴代協議会長の作品と協議会のあゆみについてコーナーを設け特別 展示も行いました。昭和62年初代川崎茂良会長、半谷副会長とともに副会長の当時翠峰書道会の渡部翠峰会長の ご尽力により総合美術展の形が構築されたと聞いております。現在は、埼玉県加須市に避難し、翠峰書會會長及び 書道奨励協会第十代會長の要職につかれ全国に渡り活躍されており、今回の30回展にも出品いただきました。今 後ともご支援・ご教授の程よろしくお願いしたいと思います。そして、教育委員会としましても、教育現場におけ る文化・民俗芸能の継承と芸文協の更なる発展と継承に向けてサポートしてまいりたいと思います。町民の皆さま のご理解とご協力をお願い申し上げます。











新しい共同墓地(長塚字寺内前地内) ただいま工事中です!



共同墓地造成地を上空から望む

新しい墓地の完成予想図

心して利用できるよう永代墓を備えています。 て今後お墓を守る人が途絶えてしまった場合でも安 (は9月に認定を受けた特定復興再生拠点区域内の5)しい墓地の造成工事が先月から始まりました。場震災以降、町民の皆さまから多くの要望があった 一時的に納める納骨墓も備えています。また避難先でお墓を確保出来ない方のた お墓参りをしやすくするためマイクロバ い建物を作ることと同じと。それは町の復旧・復 それは町の復旧 由墳墓が258 方のために やス 共同墓地造成地

お骨を 一 と 画。ま

長塚字寺内前地内です

新しい墓地は6㎡の広さを持つ自

、に向けて橋や道路、

わ

す場

所

い大切な活動です

▶ 新しい墓地の概要

• 自由墳墓(6 m²) ····· 258区画

納骨墓 …… 72基

永代墓 ………………… 1 基

▶付帯施設

・駐車場 18台(普通車16台、マイクロバス2台)

・男女別、身障者用トイレ

・休憩用東屋 ・水汲み場

※募集時期や方法は、今後、広報紙やホームページを通じ お知らせいたします。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎ 0246-84-5206



中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内(12月)

開催場所及び開催日時

場所	月日	時間
双葉町 いわき事務所	12月14日(木)	14:00~ 17:00
双葉町 郡山支所	12月21日(木)	14:00~ 17:00

◇申込方法

事前申し込みになりますので下記の申し込み先 までご連絡をお願いいたします。

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209

受付時間 8:30~17:15(平日)



国民健康保険からのお知らせ

🤛 ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品とは、新薬の特許期間を過ぎたあと、新薬と同じ有効成分で製造した 薬のことです。新薬に比べ、開発費を抑えられるため、安価に作ることができます。ジェネ リック医薬品を選択すると医療費を減らすことにつながります。希望される方は、医療機関 受診や調剤の際に医師・薬剤師へ相談してください。双葉町の医療費削減にご協力をお願い します。

第三者行為による交通事故などにあった場合はご連絡ください

国民健康保険に加入されている方が第三者(自分以外の人)の過失による行為で負傷した 場合、保険証を使用して治療を受けることができますが、その治療費は本来加害者負担すべ きものです。そのため、双葉町が治療費を一時的に立て替え払いし、後日加害者に請求する ことになります。第三者(自分以外の人)の過失による行為で負傷し、保険証を使用して治 療を受ける場合には、「第三者行為による傷病届」等の提出が必要になりますので、必ず速 やかに健康福祉課までご連絡ください。

ただし、加害者から治療費を受け取った場合や労災保険適用の対象となる場合には、保険 証は使用できません。

~ 第三者行為に該当する事例 ~

交通事故、傷害行為によるケガ、他人のペットによるケガ、スキー・スノーボード などの接触事故、飲食店での食中毒

国民健康保険制度が変わります

平成30年度から国民健康保険の財政を安定化させるため、財政運営に都道府県が加わ ります。保険証の交付や各種申請の受付は、これまでどおり双葉町の窓口で行います。平成3 0年4月からの変更点は下記のとおりです。

平成30年4月から変わること

▶保険証の様式が変わります。

平成30年度の更新から、新しい保険証には居住地の都道府県名が表記されます。

▶資格の取得・喪失は都道府県単位になります。

同じ都道府県内であれば、他の市町村に引っ越した場合も加入者の資格は継続します。 ただし、資格は継続しますが、保険証等は転居後の市町村で改めて交付します。

▶ 高額療養費の多数回該当が都道府県単位で通算され、加入者の負担が 軽減されます。

同じ都道府県内であれば、他の市町村に引っ越し前と同じ世帯であることが認められる ときは、高額療養費の多数回該当が通算されます。

ふたばクックボーイズ(男の料理教室) 男性参加者募集!

普段料理をする方も、しない方も大歓迎!簡単に作れる メニューで、一緒に男の料理の腕を磨きましょう。

味の素社「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」の協 力をいただきます。

◇日 時: 12月11日(月) 10:30~

◇場 所:ふたぱーく

(いわき市錦町作鞍80-5 旧東邦銀行植田支店錦出張所)

◇参加費:無料

◇持ち物: 三角巾 ※エプロンは貸与します。

12月7日(木)までに下記へお電話ください。(代表:坂本昌彦)

【申し込み先】 ふたぱーく ☎0246-84-9560





(平日8:30~17:15)

東京ふれあい双葉会からのお知らせ「新年会を開催します」

東京ふれあい双葉会は、東京都及び近隣の地域に住んでいる双葉町民の会です。 会員になっていない方でも気軽に参加していただけますので、ご連絡をお待ちしております。

時:平成30年1月28日(日)

所:都内を予定

参加費:5,000円前後(予定)

申し込み:平成30年1月10日(水)までに下記の

申し込み先へ連絡をお願いします。

そ の 他:会員の皆さまには詳細を別途お送りします。

【申し込み・問い合わせ先】

○谷 尚之(三字) ☎090-7072-0959

○和泉 英二(三字) ☎090-8921-3907

○佐藤 孝一(山田) ☎080-5571-3694



【平成29年11月5日 お茶会】

「Jヴィレッジ スポーツフェスタ2018」 の開催のお知らせ

Jヴィレッジでは「Jヴィレッジ スポーツフェスタ2018」を開催いたします。小学生以上のお子さま とそのご家族、世代等問わず皆さんで一緒に楽しい汗を流しませんか。

当日は現役」リーグ選手などが参加し、スポーツの楽しみを感じていただければと考えております。お気軽 にぜひ皆さんでご参加ください。

[8 時】平成30年1月14日(日)11:00~15:30 (受付:10:30から予定)

所】楢葉町まなび館(旧楢葉町南小学校) 【場 双葉郡楢葉町下小塙麦入31

【対 象 者】小学生以上のお子様とそのご家族 又は保護者で約20名

【締め切り】平成29年12月18日(月) ※応募から抽選で決定させていただきます。

(参加の可否については代表者の方に、後日連絡予定)

【申し込み先】〒979-0513

双葉郡楢葉町山田岡字美シ森8

株式会社 J ヴィレッジ スポーツフェスタ 2018 事務局 ☎ 0240-26-0111 FAX: 0240-26-0112 (郵送・FAXでも受け付けます)

※申込用紙のダウンロードはホームページからお願い します。https://www.dreamfukushima.jp/

【協 力】12市町村の各自治体

※本事業は、福島12市町村のスポーツ振興による地域の 復興に向けて、復興庁が取り組むイベントの一環です。

総会・交流会

人の参加者が県内外の避難先から 27 温泉ホテル聚楽において、石熊行 10月15日、16日、福島市の飯坂 し 10 た。 月 集まりました。

できました。 今年も地区の皆さんの協力があ 総会には、 有意義な時間を過ごすことが 盛会裏に開催することがで

ましたが、それらに対し、伊澤町皆さんから様々な質問や意見が出明していただきました。参加者の明 状と復興への取り組みについて説 勇副町長に出席いただき、 ただきました。 長から一つひとつ丁寧な説明を 伊澤史朗町 長と金田 町の現

熊

双

した。

翌日は、

別れを惜しむ人の姿が

忘れて楽しいひとときを過ごしま

し込む人など、

避難生活の疲れも

はカラオケで盛り上がる人、

一次会では終わらず、一

一次会で

部屋

に戻り夜が更けるのも忘れて話

られました。

忘れて話をする姿があちこちで見

ことができない参加者の方もい

懐かしさから時間が経つのも

交流会では、

年に一

度しか会う

楽しみに各自帰路につきました。 多くありましたが、次回の総会を 政

X

10月29日、いわき市のサラブレットカントリークラブにおいて第3回双 葉町民ゴルフ大会が開催されました。

双葉ふれあいクラブの主催で行われ、県内外から参加した約40人の参加者 の皆さんは、朝から降り続く雨の中ではありましたが、お互いのプレーを称え 合いながら競技を進め、大会終了後は楽しく交流を深めました。結果は以下の 通りです。

優勝… 作田伊久雄、準優勝… 伊藤吉夫、 3 位… 金田勇 ベストグロス賞… 武内裕美 (敬省略)



強いら ふるさと双葉町からの避 早や6年半が経過し 難 まを

総会・交流会

下羽鳥地区

さんの「返信用はがきの近況」を読み もお酒も進みました。今回欠席の皆 再会を約束して県内外の避難先に元 り合いました。 の挨拶で交流会を閉じました。二次 り上がりました。次回もまた元気で 澤町長にも参加していただき大変盛 気に戻られました。 会にも皆さん参加して夜更けまで語 会いましょうと前田洋海さんの締め 上げてご報告させてもらいました。 翌朝、別れを惜しみながら次回 余興の「じゃんけん大会」では伊

平成28年度の会計報告があり承認さ れました。 り、続いて会計の村井佳人さんから から32人の方々が参加しました。 吹の湯」において下羽鳥地区の総 総会は阿部利一区長の挨拶で始ま

双葉町民トレッキング 第3回

りました。

総会終了後、

交流会では来賓とし

での復興推進活動の紹介と説明があ

ループの社員3人の方々から双葉町最後に東電復興推進室双葉町グ

間貯蔵施設事業、

復興拠点内にある

家屋の解体について等、

資料の配布

解説がありました。

双葉町復興計画案、平成29年度の中

次に阿部区長より、

役員の改選

11月11日、双葉ふれあいクラブ主催の第3回双葉町民トレッキングが開催され、県内外からの参加者38人 の方々が那須高原の秋を感じながらトレッキングを楽しみました。

当日は、天気が心配されましたが、バスが那須に到着すると山に虹がかかり、参加者の皆さんを迎えてくれまし た。時折、強風とあられが降る天候となりましたが、参加した皆さんはしっかりとした足取りで約3キロの道のり



音頭で始まり、1年ぶりの再会で会話

交流会は、里見善光さんの乾杯の

今回は公務ご多用の中交流会に出席 各地区での町政懇談会開催中の為に て伊澤史朗町長をお招きしました。

していただきました。

を進んでいき、途中の吊り橋 では、あちこちで歓声があが るなど、楽しく話をしながら 散策しました。

秋も深まり寒さを感じる中 でしたが、身体を動かすいい 機会となった様子でした。



会・交流会を開催し県内外の避難先 月 28 29日にいわき湯 本温

ました。

0)

1

フェ

スタが開催され

て、いわき 市10月8日 10月8日 10月8日 10月8日 10月8日 11月8日 11月8

広場におい

森公園 わ

屋

き大交流

いわきに暮らすみんなが手をつなぐイベント

催されており、合唱やダンスなどのき市民の絆を強めることを目的に開震災と原発事故による避難者といわ マル ステージイベントやいわき市、 双葉町、 手をし れあいを楽しみました。 々 0) ませていました。 マさんも登場。 ダル ラクターと福島県のキビタンがープニングでは、各市町村の 様々な工夫を凝らした体験がで地元の味が集まった販売ブー が オープニング終了後、 ような姿に驚く人も いわき・まごころ双葉会、 ースなどが数多く設けられ 声をかけてくれ、 いからは、 愛らしい動きで来場者を楽 たり、一緒に写真を撮っ マさんに多くの まるで本物のダル 双葉町の た販売ブー 撫でたり、 会場内を

の双葉ダ

それぞれ参加し、 人気を集めていました。 いと笑顔が見られました。 雨は降らずに、 天気が心配されましたが、 、双葉町社会福祉協議会がわき・まごころ双葉会、ふからは、相馬流れ山踊り保 多くの方々のふ 多くの来場者から 閉会ま





来場

者

0

いました

相馬流れ山踊り保存会の皆さんによる相馬流れ山踊りの披露

新調した陣羽織に身を包んだ皆さんは、会場の注目を集める中、 堂々とした踊りを披露してくれました。



いわき・まごころ双葉会による お餅の振る舞い

つきたてのお餅はお雑煮にして来場者 へ振る舞われました。たくさんの方々が 訪れ、お昼を過ぎたころには無くなって しまいました。







ふたば茶亭によるお菓子の販売

こだわりの洋菓子や自家製の餡を使ったどら焼き、メロンパンなどが販売され、 人気の商品は次々に売れていきました。また、隣でお茶の振る舞いをしていた いわき市の慈光会様で提供されていたお菓子はふたば茶亭のものが使われて おり、出店者同士の交流がありました。



双葉町社会福祉協議会による リース作り

紙ひもを使ったリース作りには、多くの 方が体験に訪れました。

Wide をできる双葉会「いわき市再発見バスツアー Part3」



をとりました。

から、小玉ダムの目的や規模(堤高102mダム」を見学しました。ダム管理事務所の職時間に余裕があったので、近くの「県営小 の説明がありました。ダム周囲は、堤長280m)、完成後20年が経過 認識を新たに知ることができました。 が期待できる山々に囲まれ、美しい自然、 を興味深く、 な話術で笑いを随所に交えて草野心平の「草野心平記念文学館」では、館長が、 て遠く海が見える壮大な展望が、 いて話され、さらに館内展示の各資料の いわき市をさらに知る再発見を共有で、時間的に気軽に市内を巡り、参加 見て聞いて、草野心平につい 完成後20年が経過したこと等 やがて紅葉 へん見事 一生にない。 ての 説明

 \times

12mもあることを聞きました。温室内は近代的温度管理であること、特殊な水耕栽培で、茎が が実っていました。昼食は、豊富なメニューのな工場のようで、実に整然とし、見事にトマト 記念文学館) 等をメインに参加者51 員の説明で、 さらに、全員で黙祷をしました。 出迎え、区長からの挨拶と復興の状況等を聞き、 れた慰霊碑の前では、薄磯区長、自治会長らが ちこちに工事中の住宅が目立ちました。 回視察しました。昨年と違い、広い団地内のあ 2台に分乗してのバスツアーを実施しました。 薄磯地区では、 いの席で談笑しながら、楽しくゆっくり食事 ワンダーファーム「トマトランド」では、 温室内はコンピュータによる完全 久しぶりに会う会員同士が思い 高台に完成した住宅団地を巡 建立さ

に続き「 今回は、 予定通り各地を巡り充実したツアーを実行 わき・まごころ双葉会の10月例会は、 10 月 31 日、 いわき市再発見バスツアー 地域交流 絶好の秋晴れの好天に恵ま (薄磯地区)、 ②見て食べ Part 3

る (トマトランド)、

③いわきの文学 (草野心平

平成30年度 公立双葉准看護学院 学生募集

◇学科:准看護学科

修業年限: 2年(全日制) 定員:30名(男女共学)

◇受験資格

中学校卒業以上の心身健全なる者(年齢不問)

◇願書受付期間

平成30年1月5日(金)~1月26日(金)必着 ※窓口持参の場合、土日祝日を除く9:00~ 16:30まで

※郵送の場合、必ず簡易書留にすること

◇試験日程及び科目

日 時	時 平成30年2月1日(木) 9:30			
科 目	①筆記試験(国語・数学) ②面接 ③作文			
受付時間	8:30~9:00			
会 場	公立双葉准看護学院			

◇合格発表

平成30年2月9日(金) 11:00 ※本学院玄関及びHPに受験番号を掲示

◇出願書類

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 公立双葉准看護学院 福島県南相馬市原町区萱浜字巣掛場 45-76

> **☎**0244-32-0990 FAX 0244-32-0991





当センターでは福島県からの委託を受け、東日本大震災で被災された 方々への支援活動を行っています。

その活動の一環として、今年度は3回、心の健康に関するテーマで お話しさせていただくこととなりました。

** アルコールと健康 **

ふくしま心のケアセンター 相馬方部センター 米倉一磨 (看護師)

私たち心のケアセンターは、震災後から現在まで多くの、アルコールで困っている方やご家族の(困ってい ることを言えない方もいます)支援をしてきました。アルコール関連問題は一般的に「お酒をやめるやめない は個人の問題だ」と誤解されやすいのですが、心と体の病気といえます。加えて仕事がなくなる、家族が去る、 回りから信用されなくなるなど社会的な影響が大きく、多くの支援者の協力を得ないとなかなか治りにくい病 気といえます。心のケアセンターが支援した方の中には、多くの機関で支え断酒された方も少なくありません。 今回は、アルコールが与える心と体の影響についてクイズにしましたので、ぜひ挑戦してみてください。

下の枠から選んでください(答えは下にあります)
1. たくさんのお酒を飲み続けるとアルコールが ア に影響して イ がにぶくなったり、 集中力が ウ したり、ものごとに取り組む エ がおとろえたりします。
2. 自分の行動をおさえることができなくなったりします。その結果、日常の生活を送れなくなったり仕事をすることも難しくなります。
3. また、未成年のころからお酒を飲み始めると、脳の オ が壊れて、脳全体が カ り、 中 の成長に影響したりします。 ク などにかかったり、さらに ケ になる危 険度も高くなります。
4. コ などのように一度にたくさんのお酒を飲むと サ がなくなり最悪の場合 シ することもあります。
①意識 ②アルコール依存症 ③判断力 ④肝臓病 ⑤意欲 ⑥イッキ飲み ⑦死亡 ⑧低下 ⑨縮んだ ⑩細胞 ⑪脳 ⑫骨

いかがでしたでしょうか。アルコールは、飲み方を間違えると依存症となったり、日常の生活に大きな影響 を与えてしまいます。また、アルコール依存症は病気なのです。でも、安心してください。病気ですから、治 すこともできるのです。まず、下記にアルコールに関係する病気はどこで相談するのがよいのか紹介します。

● 町保健師や保健所

どのように治療をすればよいか、どの支援を 受ければよいかアドバイスをします。

※双葉町健康福祉課(いわき事務所・郡山支所・ 埼玉支所)またはお住まいの地域の保健所・ 保健センター

かかりつけ医

今の体のことを考えてどのように治療するか、 断酒や節酒についてアドバイスします。

● 精神科医への相談

依存症の治療方法についてアドバイスします。

● 断酒会

当事者の団体、お酒をやめ続けることを参加 者全員でサポートします。

A A (アルコールアノニマス)

当事者の団体、お酒をやめ続けることを参加 者全員でサポートします。

● 心のケアセンター

上記機関に行きにくい方、まずは気軽に相談 したいという方への窓口。

※被災者相談ダイヤル「ふくここライン」 (電話 024-925-8322)

ご本人やご家族の中には相談してよいものなのか、悩んでいらっしゃる方もいるのではないでしょうか。 このようなときは、心のケアセンターにお電話ください。ご相談いただいた内容から、一番よい解決方法を アドバイスいたします。まずは、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

ます。

・ 靴は、

軽くて足の甲を覆うもの、

靴

Λ

両手が使えるリュックなどを背負

利き手は必ず開けておく。

底が厚く安定したものを履く。

イントには、

ントには、次のようなものがあり 屋外の散歩などでの転倒予防のポ

時間に余裕を持って出かける。

寒い季節は体を動かすことが少なく す。

転ばぬ先の杖

5

転倒を防ごう~

健康コラム

です。家の中もこたつやカーペットな が元気で暮らし続けるためには、住ま 倒する確率は20%ともいわれ、高齢者 なります。65歳以上の方が1年間に転 いや身体に注意した健康づくりが大切

どで、いつもに比べ、転倒しやすい環 境になります。転

りにつながりやす き起こし、寝たき 倒すると骨折を引

意しましょう。 くなりますので注

◆体力増進のために

なく続けることが大切です。 進になります。また、体操などは無理 と動くよう心がけるだけでも、体力増 転倒予防に効果的な予防法のひとつ 毎日、普段の家事などをてきぱき 肢の筋力を維持することが大切で 体を動かしましょう

感じる方が多いかもしれませんが、 せんか。 になります。 で50分程度歩いたのと同じ運動負荷量 日に3回(左右で計6回)行うと両足 実際にやってみると想像よりも難しく かまりましょう。 に「1分の開眼片足立ち」 があります。 (膝の関節などが痛い人は、かかりつ さあ、 転倒が心配な人は、必ずどこかにつ 1分間を目指して始めてみま

注意しましょう。

などです。室内では次のようなことに

転倒の頻度が多いのが居間や寝室

・転倒予防のポイントは

・じゅうたん等はすべらないように固 ・敷居の段差をなくすよう改修する。

けの医師に相談してください

定する。

転びそうなとき、思わずつかんでし

まう机や家具はなるべく固定する。

双葉町社会福祉協議会

社協サロンのお知らせ 7健康運動教室、

とからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問い合わせ・申込先	開催月日	時間
健康運動教室 (内容: இ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)維持・向上等)※祝日を除く
北幹線第二応急仮設住宅集会所 (福島市飯坂町平野内小原田 8-1)	☎ 080-6033-1196 (小林)	毎週 木曜日	13:30 ~ 15:00
郭内第一応急仮設住宅 A4-2 (白河市郭内 151-41)	☎ 080 - 6290 - 5930(小泉)	毎週 火曜日	10:00 ~ 11:30
南東北総合卸センター 2 階第 6 会議室 (郡山市喜久田町卸 1 丁目 1-1)	☎ 024 - 973 - 5291(開発)	毎週 水曜日	13:30 ~ 15:00

:健康体操、健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等) (内容

※社励リロノでは昼長を準備しよりので事前に中し込みをお願いします。					
白河市中央老人福祉センター (白河市北中川原 313)	☎ 080-6290-5930(小泉)	12月12日(火) 10:00~14:0			
町民交流施設「せんだん広場」 (郡山市御前南2丁目 73)	☎ 024-973-5291 (開発)	12月18日(月)	$10:00 \sim 14:00$		
町民交流施設「ふたぱーく」 (いわき市錦町作鞍 80-5) ※旧東邦銀行植田支店錦出張所	☎ 0246-38-7105(渡辺)	12月19日(火)	10:30 ~ 14:30		

問い合わせ先> 健康福祉課 **☎**0246−84−5205 健康づくり係



▶▶ 双葉警察署からのお知らせ ▼



双葉町の刑法犯認知件数

(平成29年10月末現在)

・侵入盗 6件(前年同期比+4)

・非侵入盗 1件(前年同期比土0)

0件(前年同期比±0) ・その他

7件(前年同期比+4)

侵入盗とは、空き巣や忍び込みなどの侵入窃盗の ことで、非侵入盗とは、それ以外の窃盗のことです。

双葉町の交通事故発生状況

(平成29年10月末現在)

物件事故 18件(前年同期比+9)

0件(前年同期比-1) ・人身事

• 死者数 0名(前年同期比±0)

• 傷者数 0名(前年同期比-5)

双葉町では、平成16年8月29日以降、死亡事故が 発生していません。

引き続き安全運転でお願いします。

犯罪被害者支援活動って何?

福島県警察では、犯罪の被害にあわれた方に対して、被害者の方の心に 寄り添いながら様々な支援活動を行っています。



犯罪被害者等支援 シンボルマーク 「ギュっとちゃん」

被害者の支援を担当する警察官や職員が、実況見分・病院診察・カウンセリング等へ付き添ったり、被 害者の意向を確認した上で、医師に対する被害状況の説明を行ったりすることができます。

また、犯罪被害によって怪我をした際の診断書料(文書料)や性犯罪被害における初診料、犯罪被害によっ て自宅に住むことができなくなった場合の一時的なホテルの宿泊費用などについて、県警察の公費でお支 払いできる制度があります。(被害状況や加害者との関係によっては、適用にならない場合もあります。)

この他にも、ふくしま被害者支援センター等の関係機関の紹介や再被害防止のアドバイスをすることも できますので、ぜひご相談ください。

【問い合わせ先】

- ◆双葉警察署警務課相談・支援係 ☎0240-22-2121
- ◆県警察本部県民サービス課 **☎**024-522-2151
- ◆県警察本部性犯罪被害110番 ☎0120-503-732

詳しくは、 双葉警察署ホーム ページまで



◆消防署からのお知らせ◆ ~年末年始を安全に!!~

年末年始を迎えるにあたり、ご家庭での暖房器具や電気器具の使用に起因する火災の発生が 危惧されます。年末の大掃除と併せて清掃・点検をお願いします。

住宅用火災警報器の点検方法



- ① 機器にホコリが付着していると正 常に作動しない場合があるので、 軽く汚れを拭き取ってください。
- ② 電池式になっているので音が鳴ら ない場合は電池切れか故障が疑わ れますので交換をお願いします。

暖房器具のチェックポイント



- ① 周囲に可燃物を置かない。
- ② 外出の際や寝るときは火を消す。
- ③ 給油は火を消してから行う。
- ④ 異常を感じたら使用を中止する。
- ※ ストーブでは電気ストーブの火災 が多い。

電気器具のチェックポイント



- ① 破損している物は使用しない。
- ② プラグ部分をこまめに清掃する。
- ③ 配線の上に重い物を乗せない。
- ④ タコ足配線をしない。
- ⑤ 使用後は必ずスイッチを切る。
- ⑥ コードを束ねて使用しない。

【消防署連絡先】 ◇浪江消防署 ☎ 0240-34-7360 ◇富岡消防署 ☎ 0240-25-2119 秋

最さ

春

15

ŧ

似

た

V)

お

II

3

武

内

恒

雄

(長塚二

鳴

虫

生

命

永

b

秋

0

露くの

草さ声

独

1)

居

を

フ

|

忘

机

7

す

虫

病

葉

0

片ら

落

す

秋

時

雨

満

月

を

7

ば

無

情

0

流

n

雲

双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた お便りの一部をご紹介いたします



交流会 几 ター交流会を開催 10 季彩 月 10 Ħ に 月 お しまし 郡 7 Ш 市 0) ル 磐 バ 梯 熱 海

材

温

双葉シルバ

人材センター

ますが開催することができました。 市 b, 成23年3月11 わき市、 今年も会員の皆さんの 19人と年々少なくなって 郡 \exists 0) Щ 大震災 市 などで 1 参 毎 年 加を 年 後 きて 開 か 募 催 5

で話し込む姿がありました。 での苦労話、 交流会では、 健 康状態の 双葉での思い出 0) 話 になど、 話や 夜遅くま 避 難

ますので、 て良かっ 来年はい 皆さんの楽しむ姿を見て、 たと思い 会員の わき市での開 皆さん 、ました。 0) 催 を予 参 今 加 を 定 年 お L 願 7 開 お 催

原 光 義 山 田

Ш

人のうごき10月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏 名 生年月日 保護者 行政区 upppp 岩川 空愛 9月25日 春樹・寛奈 長塚一 星星 遥当 9月29日 祐太郎・史子 新 山

お悔み申し上げます

年 齢 死亡日 行政区 氏 名 82 栗田 シゲ 9月27日 長塚一 中野 秋子 93 10月10日 長塚二 渡邉 俊子 88 10月14日 下 条

计会计会计会计会计会计会计

双葉町民の避難状況 (平成29年10月31日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4.080人
- 2.853人 ・福島県外に避難されている方
- ※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から 死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示し ています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、 死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご 連絡ください。

秘書広報課 🕾 0246-84-5202

記録として次の世代へ ふるさと



ずっと、ふるさと。双葉

町。



























双葉町を忘れない

ふるさと絆通信」で

難生活を送っています。 はふるさと双葉町を離れ、 福島第一原子力発電所の事故により、 平成23年3月11日に発生した東日本大震災、 今もなお全国に分かれて避 私たち双葉町民 そして

ける方を募集しています。

がら「ふるさと絆通信」として連載して いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしな 日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎 います。

皆さんの双葉町への思いと心の絆がより そして「ふるさと絆通信」を通して、

層深まることを期待いたします。

だいた方が文章を作成する必要はありません。

その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいた

インタビュー取材をさせていただきます。

の記者が町民の

皆さんの避難先を訪問し、

掲載する文章は、株式会社鹿島印刷所(南相馬市)

たでも結構ですので、

【問い合わせ先】 秘書広報課 お 0246-84-5202

葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどな

ご連絡をお待ちしています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただ

あなたの想いを伝えてみませんか。





故郷・双葉町ならではの生活

受託を受けたことありました。一方、 や特別栽培など、人と環境にやさしい農業 の生活を送っていたのだと思います。 わりのある仕事で、故郷・双葉町ならでは ますが、兼業の部分も農業や地域と深く関 た。そのため、私の世帯は兼業農家になり の加工・管理などの仕事にあたっていまし 期は冨沢酒造店に蔵人として勤務し、 を行っていて、福島県から栽培比較試験の 町を離れるまで、水稲を中心として有機 農閑 酒米

はいえ、恵まれた環境なのかもしれません。

故郷」や「絆」という言葉を体感

所変われば農業も変わる

が起きる度、故郷や絆という言葉が多く使 の絆によって助けられました。 と原発事故で故郷を失い、多くの皆さんと われるようになりました。私たちは、 地域の先行きが危ぶまれるような大災害

難からほとんど練習もできませんでした ことを強く感じさせられました。 ても、故郷の誇りや絆は消えることはない した。そのとき、放射能汚染で地域は失っ ともに舞台を踏ませていただきました。避 めてじゃんがら念仏踊りを披露し、 白河市で開催されたイベントで、震災後初 して長年活動してきましたが、平成24年に 踊り」を行う山田芸能保存会のメンバーと 地区の伝統芸能「山田のじゃんがら念仏 自然と互いに体の動きと呼吸が合いま

仲間と たため、気分転換と生活の自立を両立できれ のとは違いが大きいと感じられました。 同じ水稲中心の農業でも故郷で行われてきた い、地域ぐるみの野鼠駆除を行わないなど、 しやすいため農薬の使用が多い、畦が低く弱 では主に気候の違いなどから、病虫害が発生 ばという気持ちで応募し働き始めました。 県農林公社から農業関係の求人が出されてい になりました。こちらに来て間もなく、埼玉 仕事には馴染むことはできましたが、当地 町の集団避難により加須市で生活するよう

農業サラリーマンという生き方

の時間を過ごせるのは、不自由な避難生活と 農作業が中心です。家業としてではなく通勤 ましたが、土に触れる仕事をしながら家族と して農業を行う「農業サラリーマン」となり 行っています。従事している内容はそうした 作の受託や請負、耕作放棄地の再生などを グリーンに勤務しています。 同法人は田畑耕 く、適当な答えを見つけられませんでした。 後継者問題など、継続性を果たすことが難し の誘いを受けたこともありましたが、年齢や 耕作されているケースもあります。営農再開 方も多く、当地でも受託を合わせ十町歩以上 現在、久喜市にある農業生産法人アグリ 震災以降、避難先で農業を再開されている



家族が別れての避難

震災当時、

大熊町立熊町小学校に教頭と

して勤務していました。

発災翌朝、

避難指示が出され帰宅しまし



うち ひろし 弘志

時、茨城県内や昭和村内の親類宅でお世話 その後、川俣町内の避難所で合流し、一

になったこともありましたが、私は大熊町

家族と別れての避

たが、すでに家族の姿はありませんでした。

福島県いわき市

震災直後の学校再開

難生活となりました。 と行動を共にするため、

も再開することになりました。学校は同市河 やらなければならないことが山のようにある 握、教室机、教科書や上履き、そしてスクー を始めました。通学してくる子どもたちの把 とになり、平成23年3月末から慌しく準備 るのだろうかと気がもめる日々でした。 中、数日後には入学式・始業式を迎えられ 東町の廃校となった校舎を借りて開校するこ から会津若松市に移し、町立学校・幼稚園 ルバスのルート策定など、短期間のうちに その後、大熊町は災害対策本部を田村市

仮設校舎で始まった校長生活

ましたが、町民の期待が込められた双葉町立 4月、新任校長として双葉北小学校に着任し 南小学校や楢葉中学校で教頭を務め、 平成24年3月に熊町小学校を離れ、 今年 楢葉

> 立派な校舎でした。地元・双葉町の学校とい る思いでの赴任となりました。 うことで、懐かしさとともに、 幼稚園・小中学校は、仮設とは思えないほど 身の引き締ま

足りないところは工夫とアイディアで

どもたちの体力向上にも努めています。 が整っているところはありません。足りな のような学校でも百点満点に施設や設備等 パクトで機能的な反面、校庭やプールと わき市内の施設や学校と連携しながら、 いところは工夫やアイディアを発揮し、 いった体育施設等には課題があります。ど 双葉町立幼稚園・小中学校はとてもコン 子

故郷を誇りに思える人づくり

間などを利用して「双葉町についての調べ学 だ先のことですが、学校では総合的学習の時 ちに育てていきたいと思っています。 ことによって、故郷に誇りを持てる子どもた 習」を進めています。自らの故郷を学習する ないと思います。故郷に帰還できる時期はま 年生でも、故郷双葉町の記憶はそれほど多く 被災当時、 双葉町を離れて6年以上が経過しました。 幼稚園児だった現在の小学校高学

めにも、今後ともよろしくお願いいたします。 おります。故郷の将来を担う子どもたちのた 支援をいただき、大変ありがたいことと思って 日頃より町民の皆様には様々なご協力とご





避難生活での転機

るのかという不安はありました。 が、私たちを受け入れてくれた地域に馴染め ぼっちのようになることはありませんでした じように避難した親類や同級生もいて、 被災当時は中学1年でしたが、騎西には同 人

環境に溶け込めるようになりました。 続けることができるなど、少しずつ新しい 部活動に入り小学校から続けてきた卓球を 初、より控え目な姿勢になっていましたが、 避難後の中学校生活は、 したり、他にも生徒会役員を務めるなど、 中学生の弁論大会で被災・避難体験を発表 かったこともあり、騎西中学校への編入当 そうした中、国語の教師の勧めで市内小 元来、周りより一歩前に出る性格ではな 外向きな自分を見

役立った「百人一首

が、国語については、そうした「百人一首_ れなかったための補修授業に臨みました 編入にあたって、避難により授業を受けら 2年生として騎西中学校に転入しました。 組んでいたため、 かし、 習うにあたって、暗記をするような学習に苦 のおかげで乗り越えることができました。 労した記憶がある方も多いとは思います。し 埼玉県加須市に避難後、 小学校高学年の頃、国語の授業で漢字を 私の場合「百人一首」に一生懸命取り 漢字が好きになりました。 新年度を迎え、

> うに感じています。 つけることができた大きな転機となったよ

高校進学から「実践の道」へ

しく勉強しています。 中、食物アレルギーなどに興味を持って詳 間なくカリキュラムが組まれています。厳 で4年以上、食や栄養について学んできた 業研究に取り組んでいます。高校から通算 る短期大学の健康栄養学科に進みました。 ついてより深めてみようと、埼玉県内にあ ケースも少なくありませんが、食や調理に が取得できるため、そのまま就職という しさがある3年間で、卒業時に調理師免許 進みました。 流料理店等でのインターンシップまで隙 現在、約半年後に迎える卒業を控え、卒 中学卒業後、花咲徳栄高校食育実践科に 専門分野から実習、 そして、

避難生活が与えてくれたもの

切なことだったかを実感させられました。 まで「当たり前だったこと」がどれだけ大 面への影響が大きく、自らの経験もあって る・食べられない」だけではなく、心身両 特に食生活については、単純に「食べられ りますが、避難生活という経験の中、 て節目の年齢となることに複雑な思いはあ 来年春、成人式を迎えます。故郷を離 進路選択のきっかけとなりました。 、それ



6年 渡部 **一**くん (山田) 双葉町立双葉南小学校

ぼくの将来の夢は、大工になることです。

それは、双葉町に新しく家を建てたいと思ったからです。ぼくは みんなのために丈夫な家を作りたいです。そして、みんなに幸せに なってもらいたいです。

大工になるためには、いろんな資格をとらなければいけないとお 母さんから教えてもらいました。そのために今は、ベスト個別学院で 勉強を頑張っています。

大工になるために、これからも一生懸命勉強をして頑張りたいと 思います。そして、双葉町の人のために新しい家をたくさん建てら れる大工になりたいです。

堂々と掲げ紹介している場面と町長に閲団を受けている場面です。 堂々と掲げ紹介している場面と町長に閲団を受けている場面です。 たと感じました。私もいつも見習いたいなと思っています。い好きなことを見つけ、行動できることは本当に素晴らしい 体調管理には十分気を付け



○いわき事務所

〒974-8212

福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所

T963-8024 福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所

〒347-0105 埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階 0246-84-5200

FAX 0246-84-5212

3 024-973-8090

FAX 024-933-5120

3 0480-53-7780

FAX 0480-53-7266

⋈ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ

http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/

携帯サイト

http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」

http://futabanowa.wordpress.com/

○双葉町復興ポータルサイト

http://www.futaba-fukkou.jp

